

## 「英語コミュニケーションⅠ」単元ごとの指導と評価の計画

愛知県立知立東高等学校  
教諭 森島 崇

### 1 日時・実施場所

〈省略〉

### 2 学 級

〈省略〉

### 3 学級観

〈省略〉

### 4 教 材

〈省略〉

### 5 単元の目標

講談師の生い立ちとインタビュー記事を読み、概要や要点、詳細を理解するとともに、この話を通して感じたことを話したり書いたりして伝えることができる。

### 6 関係する領域別目標（学年のCAN-DO）

聞くこと	<ul style="list-style-type: none"> <li>聞き手に配慮した速度で交わされる短い対話において、その概要や要点を捉えることができる。</li> <li>聞き手に配慮した速度で発話される短い説明やストーリーを聞き、目的に応じて概要や要点を捉えることができる。</li> </ul>
読むこと	<ul style="list-style-type: none"> <li>身近なテーマについて書かれた文章を読み、概要や要点を捉えることができる。</li> <li>身近なテーマについて書かれた文章を80wpm以上で読み、必要な情報を得ることができる。</li> </ul>
話すこと [やり取り]	<ul style="list-style-type: none"> <li>身近なテーマについて、基本的な単語や短い文を用いて、意図や情報を伝え合うやり取りを続けることができる。</li> <li>身近なテーマについて、意見や主張が伝わるように工夫して、グループでの話し合いを行うことができる。</li> </ul>
話すこと [発表]	<ul style="list-style-type: none"> <li>身近なテーマについて1分程度のスピーチやプレゼンテーションを行い、基本的な単語や短い文を用いて、情報や考えの要点を伝えることができる。</li> </ul>
書くこと	<ul style="list-style-type: none"> <li>身近なテーマについて、推敲を重ねた上で、70語程度で書き、情報や考えの要点を伝えることができる。</li> <li>その場で与えられた身近なテーマについて、基本的な単語や短い文を用いて、自身の考えの要点を30語程度で書いて伝えることができる。</li> </ul>

### 7 単元の評価規準（五つの領域ごとの評価規準の設定）

評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
読むこと	<ul style="list-style-type: none"> <li>文章を読み取るために必要となる語彙や助動詞を含む受動態、used to do の表現を理解している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>講談師の話聞いて、その内容の概要や要点、詳細を整理して捉えている。</li> </ul>	

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 講談師に関する文章を読み取る技能を身に付けている。</li> </ul>		
話すこと [発表]	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 本文の内容をまとめ、そこから感じたことを述べるために必要となる語彙や因果関係を表す表現、文におけるイントネーションなどを理解している。</li> <li>・ 話の内容をまとめ、この話を通じて感じた自分の考えを理由とともに話して伝える技能を身に付けている。</li> </ul>	聞き手にこの話を通じて感じたことをよく理解してもらえるように、講談師について聞いたり読んだりしたことを活用しながら、自分が感じたことについて理由とともに口頭で発表している。	聞き手にこの話を通じて感じたことをよく理解してもらえるように、講談師について聞いたり読んだりしたことを活用しながら、自分が感じたことについて理由とともに口頭で発表しようとしている。
書くこと	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 情報や考えを書いて伝えるために必要となる語彙や因果関係を表す表現などを理解している。</li> <li>・ 話の内容をまとめ、この話を通じて感じたことを理由とともに書いて伝える技能を身に付けている。</li> </ul>	読み手にこの話を通じて感じたことをよく理解してもらえるように、講談師について聞いたり読んだりしたことを活用しながら、自分が感じた自分の考えについて理由とともに書いて伝えている。	読み手にこの話を通じて感じたことをよく理解してもらえるように、講談師について聞いたり読んだりしたことを活用しながら、自分が感じた自分の考えについて理由とともに書いて伝えようとしている。

## 8 パフォーマンステスト

### ○領域

話すこと[発表]

### ○内容

話の内容を簡単にまとめ、この話を通じて感じたことを理由とともに話して伝えている。

### ○指導上の留意点：

- ・ 実施前にルーブリック（資料1）と実施方法を伝える。
- ・ 自己評価、アドバイスシート（資料2）を用いることで書き直しの機会を設定して、よりよい原稿を作成しようとする動機付けを行う。

### ○「思考・判断・表現」についての二つの条件

条件1：本文の内容について、自分の感想、意見、考えのうち、二つ以上述べられている。

条件2：自分の感想、意見、考えに関する理由が述べられている。

### ○採点の基準

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
a	語彙や表現を適切に使用して話して伝えている。	二つの条件を満たした上で、聞き手によく理解してもらえるように、本文の内容や自分の感想、意見、考えを理由や具体例とともに詳しく話して伝えている。	二つの条件を満たした上で、聞き手によく理解してもらえるように、本文の内容や自分の感想、意見、考えを理由や具体例とともに詳しく話して伝えようとしている。

b	誤りが一部あるが、理解に支障のない語彙や表現を使用して話して伝えている。	二つの条件を満たして話して伝えている。	二つの条件を満たして話して伝えようとしている。
c	「b」を満たしていない。	「b」を満たしていない。	「b」を満たしていない。

「十分満足できる」状況と判断されるもの：a  
「おおむね満足できる」状況と判断されるもの：b  
「努力を要する」状況と判断されるもの：c

## 9 単元の指導計画 ※網掛けは記録に残す評価の場面。

(聞…聞くこと、読…読むこと、や…話すこと [やり取り]、発…話すこと [発表]、書…書くこと)

時間	ねらい (■)、言語活動等 (丸数字)	内容のまとめ					生徒の活動状況を見届ける観点 (【 】)・方法 (○)
		聞	読	や	発	書	
1	<b>■</b> 単元の目標を理解する。 <b>■</b> ループリックを提示することでねらいをはっきりと示す。 ①ループリックの提示と説明を行う。 ②Oral introduction を聞き、内容を確認し、ペアで感想を共有する。 ③クラス全体で講師師についての情報を共有する。 ④本文を読み、ワークシートの質問に答える。 ⑤単元の目標を確認する。	○		○		○	<b>【知】</b> 適切な語句・表現を使用しているか。 <b>【思】</b> 概要、要点を適切に捉えているか。 <b>【態】</b> 積極的に自分の意見を伝えようとしているか。 ○ループリック ○ワークシート ○活動の観察
2 ～ 5	<b>■</b> 各パートの内容を口頭で要約し、それに関する感想や意見を伝える。 ①新出語彙の確認をする。 ②教科書を読み、ワークシートの質問に答える。 ③感想や意見をメモにまとめる。 ④感想や意見を③のメモを参考にしながらペアで共有する。聞き手は話し手の意見に反応し、疑問点や聞きたいことなど質問をする。その中で追記することがあればメモをブラッシュアップする。 ⑤ペアを変えて、④を繰り返す。	○	○	○		○	<b>【知】</b> 必要な語彙、表現を適切に使用しているか。 <b>【思】</b> 自分の感想や意見に理由を述べて相手に伝えているか。 <b>【態】</b> 会話が継続するように工夫しているか。
6	<b>■</b> モデルスピーチを聞いて、スピーチの構成、表現、音声上の注意、発表態度を確認し、スピーチを行う際の参考にする。 ①モデルスピーチの内容をクラスで確認する。 ②スピーチの音声や発表態度について、クラス全体で確認する。 ③モデルスピーチの原稿を読んで、スピーチの構成や使用されている語句、表現などを確認する。	○				○	<b>【思】</b> 話し手の意図を適切に捉えているか。 <b>【態】</b> 構成や語句、表現を自分のスピーチに生かそうとしているか。 ○活動の観察

7	<p>■本文の内容について、自分の感想や意見、考えと理由を含めて相手に話して伝える。</p> <p>①パートごとに作成したメモを参考にスピーチの原稿を作成する。</p> <p>②モデルスピーチを再度確認し、音声や発表態度などを確認する。</p> <p>③①で作成した原稿を活用し、ペアでスピーチを行う。また、お互いの改善点を伝え合う。それをアドバイスシートに記入する。さらに、原稿を交換し、間違いや分かりにくい部分に線を引く。</p> <p>④ペアを変えて、③を繰り返す。</p> <p>⑤アドバイスシートを活用し、課題を明確にしてパフォーマンステストに向けて改善できるようにする。</p> <p>⑥発表の原稿を仕上げる。</p>	○		○	○	知 思 態	<p>【知】必要な語彙、表現を適切に使用しているか。</p> <p>【思】自分の感想、意見、考えを効果的に理由を述べて相手に伝える構成になっているか。</p> <p>【態】自分の課題を把握して、改善しようとしているか。</p> <p>○活動の観察</p> <p>○アドバイスシート</p>
後日 定期考査	<p>パフォーマンステスト</p> <p>・振り返り（資料3）を行い、できるようになったことと今後の課題を確認する。</p>		知 思		知 思 態		<p>※採点の基準等は「8 パフォーマンステスト」を参照。</p>

## 資料 1

### パフォーマンステスト

#### 内容

話の内容を簡単にまとめ、この話を通じて感じた自分の考えを理由とともに話して伝えている。

#### ルーブリック

評価方法：「知識・技能」については、誤りが一部あるが、理解に支障のない程度の英文で書けていれば「b」、「思考・判断・表現」については、以下の二つの条件を満たしていれば「b」とする。

条件1：本文の内容について、自分の感想、意見、考えのうち、二つ以上述べられている。

条件2：自分の感想、意見、考えに関する理由が述べられている。

評価	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
a	語彙や表現を適切に使用して話して伝えている。	二つの条件を満たした上で、聞き手によく理解してもらえるように、本文の内容や自分の感想、意見、考えを理由や具体例とともに詳しく話して伝えている。	二つの条件を満たした上で、聞き手によく理解してもらえるように、本文の内容や自分の感想、意見、考えを理由や具体例とともに詳しく話して伝えようとしている。
b	誤りが一部あるが、理解に支障のない語彙や表現を使用して話して伝えている。	二つの条件を満たして話して伝えている。	二つの条件を満たして話して伝えようとしている。
c	「b」を満たしていない。	「b」を満たしていない。	「b」を満たしていない。

「十分満足できる」状況と判断されるもの：a

「おおむね満足できる」状況と判断されるもの：b

「努力を要する」状況と判断されるもの：c

★上記のルーブリックに従って、自己評価をしてみよう。下の表に○を付けて、合計得点を記入する。

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
a (5点)	5	5	
b (3点)	3	3	
c (1点)	1	1	

Score

/ 10

## Advice and Self-evaluation sheet

Name	Name	Name
Your advice	Your advice	Your advice

Name	Name	Name
Your advice	Your advice	Your advice

★アドバイスを受けての感想、反省、課題などを記入し、裏面の自己評価をしてみよう。

--

Class

No.

Name

## ルーブリック

評価方法：「知識・技能」については、誤りが一部あるが、理解に支障のない程度の英文で書けていれば「b」、「思考・判断・表現」については、以下の二つの条件を満たしていれば「b」とする。

条件1：本文の内容にふれて、自分の感想、意見、考えが二つ述べられている。

条件2：その感想、意見、考えに関する理由が述べられている。

評価	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
a	語彙や表現が適切に使用して話して伝えている。	二つの条件を満たした上で、聞き手によく理解してもらえるように、本文の内容や自分の感想、意見、考えを理由や具体例とともに詳しく話して伝えている。	二つの条件を満たした上で、聞き手によく理解してもらえるように、本文の内容や自分の感想、意見、考えを理由や具体例とともに詳しく話して伝えようとしている。
b	誤りが一部あるが、理解に支障のない語彙や表現を使って話して伝えている。	二つの条件を満たして話して伝えている。	二つの条件を満たして話して伝えようとしている。
c	「b」を満たしていない。	「b」を満たしていない。	「b」を満たしていない。

「十分満足できる」状況と判断されるもの： a

「おおむね満足できる」状況と判断されるもの： b

「努力を要する」状況と判断されるもの： c

★上記のルーブリックに従って、自己評価をしてみよう。下の表に○を付けて、合計得点を記入する。

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
a (5点)	5	5	
b (3点)	3	3	
c (1点)	1	1	

Score

/ 10

Class

No.

Name

## 振り返りシート

- 1 パフォーマンステストであなたができるようになったこと、学んだことは何ですか。
- 2 パフォーマンステストを通じてあなたが見つけた今後の課題は何ですか。
- 3 2の今後の課題をクリアするために、あなたはどのようなことをしていくべきだと考えますか。
- 4 今回のパフォーマンステストはよくできましたか。○で囲み、理由を記述してください。
- そう思う      4      3      2      1      そう思わない
- 理由 ( )
- 5 今回のパフォーマンステストの課題は難しかったですか。○で囲み、理由を記述してください。
- そう思う      4      3      2      1      そう思わない
- 理由 ( )
- 6 今回のパフォーマンステストは主体的に取り組むことができましたか。○で囲み、理由を記述してください。
- そう思う      4      3      2      1      そう思わない
- 理由 ( )



## 実践報告

### 1 はじめに

パフォーマンステストを評価するルーブリックでは、「思考・判断・表現」「主体的に学習に取り組む態度」の評価基準について、文の末尾にのみ違いが見られる場合が多い。例えば、「～がとれている」「～をとろうとしている」という部分がそれに当たる。「主体的に学習に取り組む態度」を評価するには、「思考力、判断力、表現力等」の指導を工夫することが必要になると考えた。

### 2 「学びに向かう力」を育成するために

「学びに向かう力」を育成するために重要な事柄を以下の4点にまとめた。

#### (1) 単元開始時に単元目標を生徒に示す

単元の開始時に「何ができるようになるか」を理由とともに生徒に説明することを重視した。これにより、生徒は言語活動に意義を見だし、これまで以上に見通しをもって主体的に授業に参加できるようになった。生徒に単元目標を示すことにより、教員の指導方針の共有を充実させる重要性も確認することができた。学年の英語科教員全体で取り組むために、長期休業中の時間、英語科会の時間などを有効活用して、チームとして授業計画やルーブリックを作成することを実践した。

#### (2) 授業者自身がロールモデルとなる

授業者が見本となり単元目標となる言語活動を生徒の前でやって見せることが重要であると考えた。授業者が生徒の目の前で楽しく実演することで、生徒はより主体的にゴールへ向かう意欲を高めた。

#### (3) 他の生徒と協働する

Advice and Self-evaluation sheet を用いて、複数の生徒と原稿を交換して、お互いにアドバイスをする機会を設定した。実際の授業では活発に意見交換をしている姿が見られ、授業の最後に行った自己評価にも発表原稿を改善することへの意欲が多く見られた。このことにより「学びに向かう力」の育成につながることを確認できた。

#### (4) 振り返りを行う

振り返りシートのコメントの多くは英語表現に関するものだった。他の生徒の客観的な指摘や自己評価から、多くの生徒にとって課題を見つけるきっかけとなった。自ら課題を見つけ、その課題を解決していくため方策を考える活動を通して、「学びに向かう力」の向上が期待できる。ルーブリックの事前提示、発表原稿の改善につながる生徒間の意見交換が学習効果の高いものであることが分かった。

### 3 成果と課題

今回の実践を行う上で、他学年にも協力を依頼し、パフォーマンステストの目標や各学年の生徒の実態について話し合う機会をもつことができたのは大きな成果であった。英語科全体でパフォーマンステストをより効率的に行う方法を考える一助となった。また、他の教員と協力することで、生徒の実態に合わせたルーブリックの調整や改善も行いやすくなった。パフォーマンステストは定期考査とは異なる側面から生徒の学びを評価することができる。今後はICTを活用することによって、教員の負担を軽減しながら効果的な授業実践について研究を進めたい。

### 4 参考文献

・Blue Marble English communication I. 数研出版. 2021